

# 平成26年度 村上市算数部 活動報告

部長 渡邊 康子（瀬波小）

## 1 研究主題

算数科において、思考力・判断力・表現力を育成するためには、どのような教材が有効であり、どのような授業展開が効果的なのか。

## 2 研究の概要

昨年度は、同様の主題で研究し、予想と結果にギャップがあるような課題、多様な考えのもてる課題の有効性を確かめることができた。今年度も同じ研究主題を継続し、さらに「思考力・判断力・表現力を育成するための効果的な教材や授業展開の在り方」について、示範授業と公開授業を通して研究を進めた。

## 3 研究の概要

- (1) 第1回代表部員会 4月30日 会場：村上総合文化会館  
第1回算数部会 5月9日 会場：村上総合文化会館
  - ・組織の編成
  - ・算数部兼主題の検討及び研究計画の作成
- (2) 第2回算数部会 8月4日 会場：村上市生涯学習推進センター
  - ・示範授業 単元名「円と球&変わり方」（3年「円と球」と4年「変わり方」）  
授業者 尾崎正彦教諭（関西大学初等部）
- (3) 第3回算数部会 11月7日 会場：村上市立神納小学校  
村上市小学校教育研究会指定校の授業参観
  - ・公開授業 単元名「分数 分けた大きさの表し方を考えよう」（3年）  
「図形の角 図形の角を調べよう」（5年）
  - ・全体会及び分科会
- (4) 第2回代表部員会 11月6日 会場：村上市立村上小学校
  - ・第4回算数部会時の公開授業指導案検討
- (5) 第4回算数部会 11月21日 会場：村上市立村上小学校
  - ・公開授業 単元名「場合の数 順序よく整理して考えよう」（6年）  
授業者 長谷川仁教諭（村上市立村上小学校）
  - ・授業研究協議会

## 4 成果と課題

- (1) 成果
  - ・話し合い活動を通して、多面的に見る力、整理・吟味・修正する力、知識や技能を活用する力（算数の力）を育成することができる。
  - ・学び合いにおけるペア・グループ学習では、子どもの「聞いてもらいたい、聞いてみたい、相談したい」という必要感や欲求をもたせることが必要である。
  - ・論理を引き出す言葉を子どもの口から引き出すことが大切である。（だって～、～だったら、もし～だったら、でも～、例えば～など。）つぶやきを拾い、分からなさを共有して、みんなで考えていくようにする。
  - ・「ズレが生じる・規則性が隠れている・答え方や考え方が多様である」課題が、子どもにとって難しく、面白い。課題設定を工夫し、主体的な追究につなげる。また、子どもの問題意識と気づかせたい内容をすり合わせていくよう配慮する。
- (2) 課題
  - ・本時の課題とまとめを対応させ、ねらいの達成を図る授業構成を工夫する。
  - ・論理的に説明できるよう、日々の授業の中で言語活動を充実させる必要がある。